

# OceanBridge

## Magazine

Vol. 11  
2016 Winter



OceanBridge

つかえるITを、世界から。

<http://www.oceanbridge.jp/>

# 2016

## 謹賀新年

本年も宜しく  
お願い申し上げます

- 2 新年のご挨拶
- 3 OceanBridge Topics
- 8 マルチフォーマットファイルビューア「Brava ソリューション」
- 10 ワンタイム+常駐接続で使えるリモートコントロールツール「ISL Online」
- 12 ファイル軽量化ソリューション「NXPowerLite」
- 16 編集後記

株式会社オーシャンブリッジ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



株式会社オーシャンブリッジ 代表取締役社長 持木隆介

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、オーシャンブリッジにとって大きな飛躍を感じられた一年となりました。おかげさまで多くのお客様に弊社製品、サービスをお届けすることができ、2015年9月期には売上、利益ともに創業以来最高の結果を得ることができました。これもひとえに弊社製品をご活用、ご提案いただいております、お客様、パートナー様のおかげと心より感謝申し上げます。

社内での新たな取り組みとしては、社員のスキルアップに力を注ぎました。特に20代の中堅入社社員に対しては3ヶ月間の教育メニューを整え、社員のスキルレベルの底上げを継続して実施しました。また、7月には約5年ぶりに社員合宿を行い、一体感を持ってサービスをご提供するための取り組みを行いました。

私の活動としては、海外の開発元である米国、スロベニア、英国の3社にそれぞれ訪問し、パートナーシップをより深めてまいりました。また、新たな「つかえるIT」を探すために、ドイツで開催されたIT Expoへの視察なども行いました。

ファイルビューア「Brava」については、オーシャンブリッジ創業時からのパートナーであった開発元のInformative Graphics社が、OpenText社に買収されるという大きな出来事がありましたが、OpenText社との新しい協業関係も構築することができ、日本のお客様へ製品とサポートを引き続きご提供することができました。

リモートコントロールツール「ISL Online」は、オンプレミスライセンスの提供に力を入れ、売上は前年比113%まで伸ばすことができました。さらにはこれまでのパブリッククラウドライセンスとオンプレミスライセンスに加えて、日本初の「プライベートクラウドライセンス」の提供を開始いたしました。

ファイル軽量化ソリューション「NXPowerLite」は、独自開発のアプリケーションやファイル管理システムなどに組み込み可能な「ソフトウェア開発キット (SDK)」をリリースし、新たな分野への展開を図りました。

おかげさまで弊社は本年の6月で創業15周年を迎えます。今後は主力の3製品をより広めるとともに、「つかえるITを、世界から。」の言葉のもと、日本の皆さまに海外のユニークで便利なソフトウェアやITサービスを新たにご案内できるように活動していきます。2014年に発表した目標「東京オリンピックが開催される2020年までに、売上高、社員数を倍増する」を目指し、社員と共に邁進してまいります。

成長を続けるオーシャンブリッジにどうぞご期待ください！

本年も、さらなるご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



つかえるITを、世界から。



# スタッフ紹介リレー

今回は、マーケティング担当の佐藤をご紹介します。



MAKI SATO



営業部  
佐藤 真紀  
(さとう まき)

**Q：自己紹介をお願いします**

A：営業部の佐藤と申します。今年8月にオーシャンブリッジに入社し、マーケティングを担当しております。前職はオーシャンブリッジと同じIT業界ですが、システムエンジニア職でしたので、キャリアチェンジということで今は勉強漬けでもあります。また、社内には若手が多く、向上心の高い若手社員が大勢いる環境の中、刺激のある(楽しい)日々を送っております。

出身は福井県小浜市です。大学は長野県、社会人で上京しました。社会人になってから帰省は年に1度ですが、毎度「こんな建物あったかな」と、懐かしさ以外にも記憶喪失に陥ることがあります。2015年7月の舞鶴若狭自動車道開通にあわせて周辺の商業施設が増えているそうなので、覚えていくことを願わんばかりです(先日の帰省時には敦賀市に行かないと入手できなかった、ミスタードーナツが売出しているのを発見し、びっくりしました笑)。普段はインドア派で、ドラマ・アニメを見たりカラオケに行ったりお菓子を作ったりと家で何かしていることが多いのですが、写真を撮るのも好きなので、近場の山や公園、展示会にふらっと出掛けています。今は人や動いているものを撮る練習をしています。初心者向けのカメラを使用していますが、仕上がりを確認すると思ったように撮影できていないことが多いです。カメラの性能に頼りすぎのようなので、たくさん撮って、少しずつ腕を上げていきたいです。

**Q：仕事でのやりがい、楽しいことを教えてください。また苦しいことやつらいことはありますか？**

A：オーシャンブリッジの情報発信者としてお客様、パートナー様の目に触れるものを作っていることがやりがいでしょうか。マーケティングの業務で、メールマガジン、OceanBridge Magazine、セミナー、Webサイト、プレスリリース等の原稿や絵を作成・発信しておりますが、世の中にダイレクトに出ていくという、今までにない貴重な経験をしています。一方、文章や絵の作成時は、記載内容に誤解がないように細心の注意を払い、正しい情報を発信しなければならないのでチェックが非常に大変で、終始無言状態が続くことがよくあります。プレッシャーが重たくのしかかりますが、非常にやりがいがある仕事です。また、入社後にオーシャンブリッジのWebサイトリニューアルに携わることができました(本ページ下部にご案内がございます)。入社前からずっとやりたいと思っていたことに、さっそく携わることができました。

**Q：お客様、パートナーの皆様へ一言**

A：いつも弊社製品をご利用・ご拡販いただきまして誠にありがとうございます。基本は社内勤務ですので、あまりお客様とお会いすることができないかもしれませんが、本誌やメルマガ、Webサイトなどで間接的にお会いできる機会がたくさんあります。本誌をご覧になってお気づきの点やご意見がございましたら、遠慮なくお知らせ下さい。今後も皆様に役立つ情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## オーシャンブリッジ Web サイトをリニューアルしました。

オーシャンブリッジ Web サイトをリニューアルしました。以前と雰囲気はガラリと変わりまして、明るいイメージのWebサイトを公開しています。「つかえるITを、世界から」の弊社のミッションを元に、こちらのWebサイトより最新の製品ニュースやセミナー情報等を随時更新し、情報発信して参りますので、ぜひご覧ください。

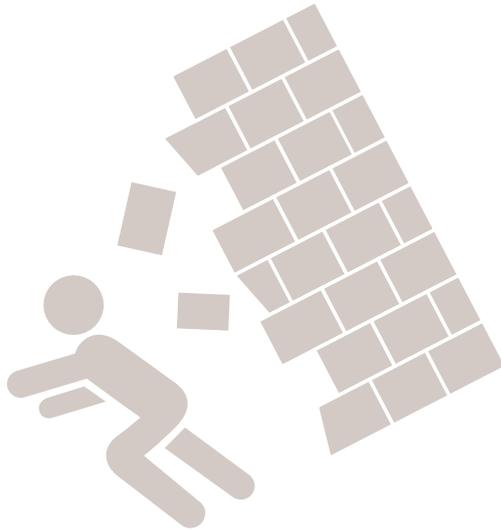
<http://www.oceanbridge.jp/>





# オーシャンブリッジの **活** **動**

こんにちは！経営管理部の鈴木です。  
今日は私が、オーシャンブリッジの『防災対策事情』について紹介させていただきます！



経営管理部では、「社員が気持ちよく働くことができる会社」を常に意識し、社内の環境改善に取り組んでいます。

現在の道玄坂オフィスに移転してから約1年が経過し、やっと社内の環境整備も落ち着いてきたところ…。

何かまだ改善できることはないかしら…？と、そこで考えたことが「防災対策」です。

そういえば新しいオフィスには防災用品が無い！  
棚も一部固定されていない…オーシャンブリッジ社内の防災設備も一度見直してみよう！ということで、棚の固定器具の見直しや、今まで設備されていなかった防災用品を揃えるところから始めました。

そこで揃えた家具の転倒防止・固定器具から、防災用品まで、今回は一挙にご紹介します！

## 固定器具編



社内の棚は主にこの「不動王」大・小2種類で固定しています。  
(左が大、右が小)



食器棚などの大きな棚は不動王・大、キャビネットなどの小さな棚は不動王・小サイズで固定しています。



壁と棚をこのように固定しています。  
大きい方だと115kg、小さい方は150kgまで支えることが可能だそうです。



地震の際、意外と揺れに弱い複合機も、しっかり固定しています。  
本体部分と、フィニッシュトレイ部分はそれぞれ固定。  
フロアはカーペットなので、特殊なマジックテープで固定されています。



複合機の固定器具を剥がすためには、専用のヘラが必要です。  
簡単には剥がせません！



## 防災グッズ編

「防災グッズ」は文字通り、災害を防ぐためのもの。どこまで揃えたら良いの？と悩むところですが、弊社ではこれだけ揃えました！社員が30名、3日間社内滞在出来る量です。（※写真は一部です。）何が含まれているか、以下に一部ご紹介させていただきます！



1 5年保存水と、カンパン。お水のラベルには側面に災害用伝言ダイヤル「171」の使用法や、国土交通省が提供する防災情報提供センターのQRコードも記載があります。



2 写真右から、ライター、懐中電灯、携帯ラチオ、急速充電器、缶切り



3 (写真右上から時計回りに) 軍手、消毒用アルコール、携帯トイレ、生理用品、トイレットペーパー、ゴミ袋、ウェットティッシュ



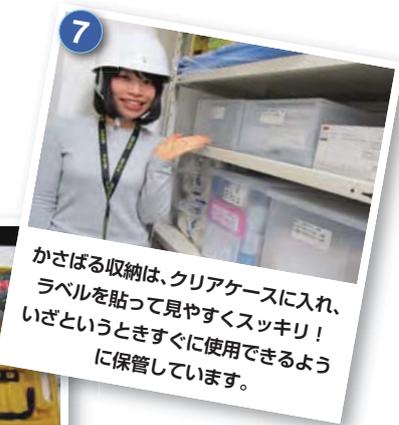
4 こんなに小さいですが、ブランケットです。暴風・防寒・防水の機能を兼ね備えています。こんなに小さくて大丈夫なの？と思うかもしれませんが、実は…。



5 こんな大きさにまで広がります！とっても薄くて軽い！



6 こちらはレスキュー11、という名前がついたレスキューセット一式。名前の通り11種類、脱出・救出のための用品が入っています。ノコギリ、ハンマー、ロープにジャッキまで…。



7 かさばる収納は、クリアケースに入れ、ラベルを貼って見やすくスッキリ！いざというときにすぐ使用できるように保管しています。



## 情報共有編

地震災害対策マップ、というものを作成し、社内に掲示しています！

渋谷区の中なかでも、揺れやすい場所はどこか、一番近い避難場所はどこか、などを普段から社内で共有しておくことも、災害対策の一環です！



いかがでしたか？

まだまだ整備を始めたばかりですが、社員のみんなが気持ちよく過ごせるオフィスを目指して、日々奮闘しつづけていきます！！

# オーシャンブリッジの **活 動**

このコーナーでは、オーシャンブリッジの社内活動を掲載しています。

今回は、ハートスイッチ<sup>(※)</sup>メンバーが新しくなりましたので、各メンバー紹介と実施している活動を紹介します。

※ オーシャンブリッジのスタッフが行動する際に意識するべき5つの心構え「OB Hearts」(やり抜く意志・主体性・向上心・好奇心・チームワーク)を社内に浸透させるためのタスクフォース

## 新ハートスイッチメンバー紹介

YOHEI  
TAKAGI



高木 庸平

私はオーシャンブリッジ在籍 10 年を超える数少ない一人なのですが、業務の都合などで、気づけば一度もハートスイッチに参加したことがなかったため、そろそろ年貢の納め時と思い参加しました。ハートスイッチをラジオ局に見立てて活動しているので、より社内が明るく盛り上がるような発信者=DJを目指します。

HASUNA  
SUZUKI



鈴木 芙蓉

私は入社してまもなく 2 年目を迎えるようとしています。1 年目ではただ参加するだけの活動でしたが、企画する側になったからには 2 年目ならではのフレッシュな企画を出していきたいと思っています！またオーシャンブリッジでは今後新しく入社される方も多いので、新旧社員同士の交流と会社全体の団結力を高められるような活動を 1 年を通してやっていきたいと思っています！

NAOKO  
KAMIZEKI



上関 奈央子

社員同士のコミュニケーションを活性化させるという一面もあるこの取り組みですが、私自身も普段業務上では接点のあまりない社員と接することができる良い機会だと考え、楽しみながら取り組んでいきたいと考えています。

YAYOI  
YAMASHITA



山下 弥生

今回、ハートスイッチには 5 年ぶり 2 回目の参加です。社内のメンバーが自然に OB Hearts を意識できるような仕組みやイベントを、自分自身も楽しみながら実施していきたいと思っています。役割的に私はラジオ局の AD なので、社内を走り回ります！



## 今後予定している活動

今期のハートスイッチの基本コンセプトは「ラジオステーション」ということで「Heart Switch Station～みんなをつなげる～」をスローガンとして掲げ、ハートスイッチをラジオ局に見立てて活動しています。「リクエストフォーム」と称した Web フォームを作成して、「あの人のありがとう！」「見たぞ！あの人の OB Hearts」「日々のつぶやき (Good and New)」の投稿を募集しています。また、先日は特別ハガキ募集と称して、社長の持木へのありがとうメッセージを集めたアルバムを作成しました。今後も、社内メンバーみんなが楽しめる企画を続々発表していく予定です。



リクエストフォーム



社長 持木隆介

# FOCUS 厳選の営業活動日記を紹介

オーシャンブリッジ Web サイトでは、営業部メンバー全員が普段の営業活動を日々ブログにて公開しています。営業活動中のトピックスや、出張先での発見、休日の過ごし方など、普段はなかなかお話できない幅広い内容を投稿しています。その中から今回は2015年の振り返りとして、今年のプログ投稿を編集部の特権でカテゴライズしました。今回は「発見！気になるテクノロジー編」をご紹介します。

営業活動日記はこちら <http://www.oceanbridge.jp/partner/>

## 発見！気になるテクノロジー編

### ハイテク編



超ハイテクアイマスクで、きっと仕事も捗ります。



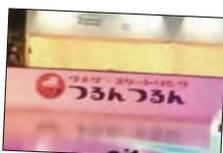
新感覚歯ブラシ



大阪出張中にドクターイエローに遭遇。試験車カッコイイです。



フェ、フェラーリ欲…乗せてください。

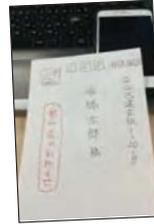


つるんつるん、テクノロジー。つるんつるん。

### ローテク / アナログ編



残っていてうれしいです。トトロのお洗濯のシーンを思い出します。



アナログの勝利。スマホも PC も使えなくなったときは、やはりこれでしょう。



古代のお作法～お食事マナー。さて、何を食べているのでしょうか。

### ハイテクとアナログの間編



永遠のラジオ少年 (死語)

### ミステリー編



香川のびっぴミステリー



今年も「オーシャン祭」開催！※弊社との関係性は…つまりミステリー。



貸してくれるそうです。そして、ミステリー。

## 番外編

### 最近のはやり、動物編



にゃんそうこうだにゃん！



犬と散歩。もふもふです。



リアル猫もですが、二次元も癒やしますね。



ペンギンがいるBAR



ゆるキャラ on the プロレスリング @高円寺

### 最近のはやり、さわやか編

さわやかな週末。社員が静岡まで通う？ハンバーグ



### 最近のはやり、ヘルシー食品編



自家製ジャーサラダで健康おつまみ



〇〇に効くヨーグルト。～ビール好きなんです

## 導入の裏側

### 山九様

物流企業として知られている山九株式会社様は、プラント建設やメンテナンス業務に携わるエンジニアリング企業としての顔も持っています。製鉄や石油化学などの巨大なプラントの点検や補修作業には、膨大な量の図面や仕様書などのドキュメントが必要になります。山九様は既存システムの Microsoft SharePoint の運用をそのまま活かし、Brava for SharePoint の導入によって、日本国内外で快適でセキュアなドキュメント活用環境を構築されました。

お客様を担当し、事例取材にも伺った営業部 高木に製品の導入に至った経緯を聞きました。



#### 過去事例データの効率的な検索やセキュリティ環境の構築が課題だったと聞いています。

はい、山九様の場合、ドキュメント管理ソリューションとして SharePoint を利用されており、データベースから過去の補修事例データを参照してプラントの補修作業計画を立てています。情報資産は増える一方ですが、結果としてデータベースの巨大化により検索効率の悪化を招いていました。さらに一つ一つのデータが肥大化したため、中身を確認するためにはファイルを開かなければならないのに、開くまでの時間が長くなっていました。そのため、目的の文書にたどり着くまでに非常に時間がかかっていたようです。また、社員がすべてのドキュメントにフルアクセスできるようになっていましたが、やはり技術データなので不正に利用されたくないとお考えになっていました。



#### Brava for SharePoint の導入を決定されたポイントを教えてください。

「ファイルのダウンロードに時間がかからずに」「目的の事例を素早く閲覧できること」がポイントだったようです。加えて山九様は国内外に多数拠点がございますが、通信環境が整っていない回線の細い環境の場合でも、ダウンロードや閲覧は迅速にできることが重要でした。そして製鉄所や石油化学プラント業界は、ほかのプラントと比較してよりセキュアな環境で運用することが求められていましたので、安全性も意識されていました。また、運用管理の煩雑さを避けるために、既存の SharePoint に蓄積されたデータの活用も前提としてありました。これらの課題を単一のソリューションで解

決できるのは、Brava for SharePoint 以外になかったとのことでした。

#### Brava for SharePoint の導入後の効果について教えてください。

検索と閲覧の速度が劇的に改善されたと同っています。SharePoint で補修事例を検索すると、検索結果の文字列に加え、ファイルの 1 ページ目がサムネイルとして表示されます。そのため、事例の詳細内容の表示も、ダウンロードすることなくビューアですぐに確認できます。おかげで、いちいちファイルをダウンロードして確認する手間がなくなったそうです。とりわけ通信環境の悪い国内や海外拠点でも軽快に動作するため、ストレスなく情報資産を活用し、お客様への提案業務も効率的に遂行できていますと同っています。



検索結果から見たい文書を選択するとサムネイルが表示される

#### 取材後の一言

山九様は、国内・海外を含め多くの拠点からドキュメント共有しているため、迅速な閲覧とセキュリティを非常に重視されていました。昨今は個人情報保護やセキュリティニーズの高まりもあり、企業内セキュリティ保護の強化を目的に導入されるケースが増えています。Brava シリーズは、標準で多彩なセキュリティ機能が搭載されています。必要な情報を閲覧しても、クライアント側には元ファイルが渡らず、情報漏えいリスクを抑えることができるのでオススメです。

弊営業部：高木





## Blazon for FileServer 最新バージョンリリース

文書共有ソリューション「Blazon for FileServer 7.3」をリリースしました。Blazon for FileServer の概要や最新機能についてお知らせします。

Blazon for FileServer は、企業内のファイルサーバーに保存されている各種文書・図面・画像ファイルを、フォルダ構造をそのまま Web ポータルへ変換する文書共有ソリューションです。Web ポータルを構築する際、指定フォルダ内のファイルをすべて事前変換するため、ポータル上でファイル名をクリックした際、非常に高速に表示できます。オリジナルファイルではなく、表示専用に変換されたデータを閲覧するため、不要なコピーや印刷、またはダウンロードなどを防ぎ、情報漏えい抑止になります。社内で情報共有ポータルを構築・運用する場合に最適の製品です。



### 「ファイル内検索」機能に関する機能強化

変換後データ表示中に、ファイル内検索を実行した際、ヒットした箇所の一覧を表示できるようになりました。前バージョンまでは、検索結果を一つずつ確認する必要がありましたが、対象ページへすぐアクセスすることができるようになりました。



### ファイル/フォルダ単位での制限

ファイル/フォルダ単位での印刷、ダウンロード、テキストコピー可否等を制御できるようになりました。

### ファイル変換処理速度の向上

ファイル変換処理時に公開パスのバックアップを取得する仕様を変更したことで、ファイル変換処理速度が向上しました。

## BRAVA! Desktop

この度、日頃 Brava Desktop をご利用頂いているお客様より、Brava Desktop に対するコメントを頂戴しました。アンケートにご回答下さったユーザー様のコメントを一部紹介させていただきます。

気に入っている点

### ご利用ユーザー様の声

他ソフトに比べ Brava Desktop は格段に TIFF 表示が速く、ストレスなくファイル閲覧できることに満足しています。

Adobe Acrobat Pro の購入価格より費用を抑えることができました。

大判図面ファイル(TIFF)の高速な閲覧が可能で、マークアップで検図としての注記や図形指示ができる。

高額な AutoCAD ソフトなしにビューアとして図面を見ることができ、PDF に変換できる。パスワードをかけて PDF が作成できる。

日本語以外の文字の比較が可能で、設計書に記載されたウラウト※の違いを見つけてくれる。  
※ドイツ語、アルファベットと記号の組立文字

PDF や TIFF への変換が容易で使いやすいです。2つのファイルを重ね合わせて比較ができ、変更点の確認が簡単に出来るのが良いです。

図面は人が作っているので入力ミスをなくすことは実際は難しく、ファイル内全てチェックしていたが、図面の比較機能で部分的にチェックが行えるようになり、素早く正確な図面作成ができるようになった。

Autodesk Plant Design Suite の図面保存時に、属性値が原因で意図せず変更箇所が出てしまう際も、変更箇所のみ色付けされて表示されるのでチェックが容易になり、業務効率がアップ、納品も安心してできる。

この他に多くの貴重なコメントを頂戴しております。頂いたご意見は、今後の Brava Desktop 製品の品質の向上に役立てます。ご協力いただきました企業様に感謝申し上げます。

## pcAnywhereをご利用中のお客様へ、2016年4月にサポートが終了します。

2016年4月のpcAnywhereサポート終了に伴い、pcAnywhereからISL Onlineへ乗り換えられる企業様が増えています。乗り換えの理由は、Windowsアップデート後にpcAnywhereが使用できなくなった、継続使用中にOSの最新版に非対応になってしまったなど、いくつかの理由があります。ここでは、pcAnywhereユーザー様が抱える課題とISL Onlineに乗り換えるメリットをご紹介します。

### pcAnywhereユーザー様が抱える課題は、すべてISL Onlineで解決できます。

#### pcAnywhereユーザー様が抱える課題

##### 課題1 pcAnywhereは以前のバージョンと接続できない

旧バージョンから最終版のpcAnywhere 12.5 SP4へバージョンアップした場合、旧バージョンとの互換性がないため、接続ができなくなります。そのため、段階的なアップグレードを部門単位や小規模単位から始めることができません。



##### 課題2 pcAnywhereは最新のOSに対応していない

最新版のpcAnywhere 12.5 SP4は、各OSのWindows 8、Windows Server 2012、MacOS 10.8以降に非対応です。

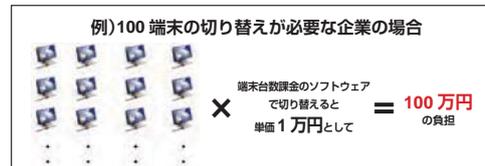
pcAnywhere 12.5 SP4 対応OS	対応OS		
	Windows	Windows Server	Mac
XP	2003	10.5	○
Vista	2003 R2	10.6	○
7	2008	10.7	○
8	2008 R2	10.8	×
8.1	2012	10.9	×
10	2012 R2	10.1	×

##### 課題3 pcAnywhereはWindowsアップデート後は不安に

プログラムの開発が停止していることで、今後さらにWindowsアップデート後に接続できなくなる可能性もあります。「クライアントのWindows 7 端末にpcAnywhere 12.5.4をインストールして利用していましたが、Windowsアップデート後にブルー画面になり、接続できなくなりました。メーカーに問い合わせましたが、修正パッチはなかなか出てきませんでした(元pcAnywhereユーザー様の声)」

##### 課題4 pcAnywhereは端末が多いほど買い替えコスト負担大

端末数が多い企業では、端末台数課金のソフトウェアで切り替えるコスト負担が大きくなります。



「ご安心ください」すべてISL Onlineで解決できます



#### 解決1

旧バージョンとも接続できる

※ISL LightとはISL Onlineのリモートコントロールプログラムです



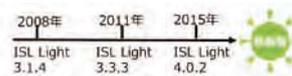
#### 解決2

最新のOSに対応



#### 解決3

常に最新版プログラムを利用できる



#### 解決4

同時接続ライセンスなので 端末ライセンスは不要!

- 接続対象端末数は無制限
- エージェントインストール無料
- 同時使用する本数だけ購入

#### pcAnywhereからの移行イメージ

ISL OnlineはpcAnywhereと同居可能なため、体験版から本番運用へ移行の際も、段階的にpcAnywhereを切り替えることが可能です。

##### 【STEP 1】

ISLサイレントインストーラーの作成

- ・ISLのサイレントインストーラーはURLをカスタマイズするだけで作成できます
- ・pcAnywhereは利用可能な状態



##### 【STEP 2】

ISLのインストーラー配布・実行

- ・配布方法は主に3通りあります
- 1. Active Directoryのグループポリシーを使用した配布
- 2. 資産管理ツールによる配布
- 3. 社内共有フォルダまたはポータルに配置して、各ユーザーにインストーラーを実行してもらう

##### 【STEP 3】

ISLの動作確認

- ・pcAnywhereは利用可能な状態
- ・ISL Onlineも利用可能な状態
- ※両方同時に利用できます



##### 【STEP 4】

pcAnywhereのアンインストール

- ・ISL OnlineはpcAnywhereがインストールされていても利用可能なので、お客様ご自身のPCにタイムズアップのpcAnywhereをアンインストールしただけです



ISL OnlineならpcAnywhereとも同居可能なため、体験版から本番運用へ移行の際も、段階的にpcAnywhereを切り替え可能



# ワンタイム＋常駐接続で使える 国内唯一のリモートコントロールエンジン

## 「お客様はどのような環境でリモートコントロールのご利用を希望されていますか」

オーシャンブリッジが提供する ISL Online は、1 つのライセンスでワンタイム接続と常駐接続をご提案できる国内唯一のリモートコントロールツールです。ISL Online は、「ISL Online リモートコントロールエンジン」をコアエンジンとしてサービスを実現しています。実はこのエンジンの配置場所を変えることで、ご希望の利用シーンでリモートコントロールを実現できます。

「ISL Online リモートコントロールエンジン」は、他社にはないカバー率で様々なライセンス体系をご用意しておりますので、様々な企業様の自社ポリシーに合わせてご選択可能です。そして豊富な機能を備えておりますので、お客様のどのようなご利用シーンにもマッチします。

## ★ ISL Online はカバー率 No.1

	ISL Online	R社	O社	I社	N社	T社
他社ライセンスとの比較	オンプレミス	○	△	△	×	×
	プライベートクラウド	○	×	×	×	×
	パブリッククラウド	○	○	○	○	○
	OEM	○	○	○	×	×

## ★ シーン別ライセンスのご提案

<p>社内 LAN で利用したい</p> <p>ISL リモートコントロールエンジンを「社内 LAN」におくなら</p> <p><b>オンプレミスライセンス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●セキュリティを高め、自社インフラで利用</li> <li>●全アカウントの操作ログ取得が可能</li> <li>●カスタマイズが豊富</li> <li>●¥750,000～</li> </ul> <p>ポイント：専用線・VPNなどで接続された LAN 内に限定した接続や専用サーバーで運用管理を行いたい企業・自治体に適しています。</p>	<p>AWS (Amazon web service) でサーバー構築なしで利用したい</p> <p>ISL リモートコントロールエンジンを「AWS」におくなら</p> <p><b>プライベートクラウドライセンス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サーバー構築不要</li> <li>●シングルテナントで運用</li> <li>●サーバーは冗長構成</li> <li>●¥3,000,000～</li> </ul> <p>ポイント：シングルテナントで契約企業様だけにご利用いただく年間利用ライセンスです。オンプレミスのセキュリティ性とパブリッククラウドの冗長性を兼ね備えています。</p>	<p>インターネットクラウドでより安く利用したい</p> <p>ISL リモートコントロールエンジンを「インターネット上」で共用するなら</p> <p><b>パブリッククラウドライセンス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●安価に利用したい方へ</li> <li>●インターネットに接続するだけで、どこでも利用可能</li> <li>●¥29,000～</li> </ul> <p>ポイント：年間契約でご利用いただくクラウドライセンスです。サーバーを設置・構築する必要がなく、低コストかつ最短即日にご利用いただけます。</p>	<p>特定ビジネスに提供したい</p> <p>ISL リモートコントロールエンジンを「特定ビジネス」で利用するなら</p> <p><b>OEMライセンス</b></p> <p>ここまでカバーできるのは、ISL Online だけです。</p>
--	---	---	---

ISL Online は、お客様の希望状況に合わせたライセンス体系のご提案に加え、1 つのライセンスで豊富な機能や同時接続数に応じた合理的な課金体系をご用意しております。ご相談・ご検討の際には、お気軽に弊社営業部までお問い合わせください。

# NXPowerLite™

## ファイルサーバーエディション

ファイル軽量化ソリューション

## 導入の裏側

### Ⅰ かんてんエンジニアリング様

かんてんエンジニアリング様は、各種設備・施設のメンテナンス業務の中で、過去の工事や保全業務の写真、図面、地図といった画像データやあらゆるドキュメントを、各業務の担当者が保管・共有するためにファイルサーバーを利用していました。また、事業継続計画(BCP)対策の一環としてファイルサーバーは各拠点に設置しているため、運用台数は約100台にもぼり、ファイルサーバーの保守コストやリスク削減を課題として抱えていました。この解決策として、NXPowerLite ファイルサーバーエディションを採用されました。

お客様を担当し、事例取材にも伺わせていただいた営業部 秋本に製品の導入に至った経緯を聞きました。



#### NXPowerLite の現在の利用状況を教えてください。

現在、各拠点で使用しているファイルサーバーのリプレースを進められています。約100台のサーバーを統廃合して約30台に集約し、新サーバー全てにNXPowerLiteを導入する予定で、現時点で約20台導入が完了し、稼働しています。サーバーには、過去の工事や保全業務のデータで画像ファイル(写真、図面、地図)を保管しており、容量の約半数を占めています。

#### ファイルサーバーを各拠点に置かれている理由を教えてください。

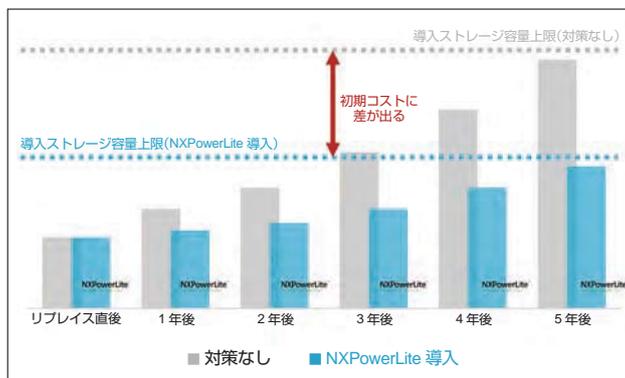
本社のサーバーでデータを集約すると、各支店からサイズの大きいデータを取りに来た際にネットワーク負荷が膨大にかかることが予想されます。

また、常に現場に置かれているデータが最新であり、迅速に復旧できる体制を整えておくことが非常に重視されています。阪神淡路大震災の時のように、本社の機能が止まってしまう、現場(各支店)のデータ復旧の遅れや、最新のデータを損失することがあると業務が止まってしまうため、リスクを分散するために拠点配置していると伺っています。

#### 100台のファイルサーバーを、30台のファイルサーバーに統廃合し、NXPowerLiteを各サーバーに導入することを決めたポイントを教えてください。

サーバー運用コスト削減できる点とBCP対策が強化できる点がポイントでした。各拠点のファイルサーバーで5年間、NXPowerLiteを利用した場合と利用しなかった場合に、どのくらいデータ容量に差が出るのかシミュレーションを実施いただいた結果、NXPowerLiteを導入すればデータ容量が抑えられ、より小さな容量のストレージで運用できることがわかりました。バックアップの際の回線負荷を軽減し、さらにはバックアップ時間を短縮するこ

ともできます。また、万が一サーバーに障害が発生した際のデータ復旧(リストア)の時間が短縮できることも導入決定のポイントとなりました。



#### 取材後の一言

かんてんエンジニアリング様に実施いただいたように、ファイルサーバーエディションにはシミュレーション機能をご用意しておりますので、現在のご利用環境にNXPowerLiteを導入時の具体的な効果をご確認いただけます。NXPowerLite導入により、運用負担も軽減できたお客様も多数いらっしゃいますので、課題や悩みがございましたら弊社営業部までお問い合わせ下さい。ご相談に駆けつけます。

弊社営業部：秋本



## クボタ環境サービス様

全国に拠点をもつ建設業のクボタ環境サービス様は、2台合計で9TBを運用し、工事報告書の作成用の撮影写真をファイルサーバーに蓄積保管していました。さらに方針変更により紙報告書をPDFに変換して保管することとなったため、ファイルサーバーの容量の逼迫が加速し、サーバー更新が1年前倒しになる状況でした。この解決策として、NXPowerLiteファイルサーバーエディションを採用されました。

お客様を担当し、事例取材にも伺わせていただいた営業部 亀谷に製品の導入に至った経緯を聞きました。



For Earth, For Life  
Kubota

クボタ環境サービス株式会社

どのようなきっかけで、NXPowerLiteの検討を始めたのでしょうか。

NXPowerLiteの軽量化は即効性があると判断されたからです。ストレージ容量不足が目前に迫っていたため、ユーザーにファイルの精査と削除を促す方法では、社内に浸透して効果が現れるまでに時間がかかり過ぎてしまいますし、実際に削除してもよいと判断できる写真は少なかったそうです。また、大容量の画像データがメールで送信できないことが社内でも頻発して問題になっており、対応を迫られていたそうです。

NXPowerLiteをご紹介した頃はそこまで効果を期待されていませんでした。画質劣化も不安だったそうですが、デスクトップエディションの体験版で、軽量化する前のオリジナルの写真と見分けられず、工事写真としてまったく問題のない画質と判断いただき、ファイルサーバー増設ではなく、NXPowerLiteの導入を決定されました。

### ストレージ容量不足を解決のために検討した手段

対応策	手間	コスト	即効性
不要なデータの削除を依頼する	★★★	★	★
ファイルサーバーにディスク増設	★★	★★★★	★★★
サーバー管理ツール導入	★★★★	★★★★	★★
データの圧縮・軽量化ツール導入	★	★	★★★★★

NXPowerLiteの導入でファイルの軽量化以外に様々な効果があったそうですが。

大阪支社では、6TBのデータを1.6TB(約27%)削減することができました。一度設定を行っておけば、あとは軽量化が終わるのを待つだけなので、手間をかけずに空容量が確保できるようになっています。他にも、写真をメールで添付送信した時のメールサーバーのトラフィックやメールデータへの負担の軽減や、BCP対策の一環として行っていたデータセンターへのバックアップも、全体の30%におよぶ画像データの軽量化によりコストが削減できているそうです。ファ

イルサーバーの更新時のデータ移行時間も大幅に短縮できそうともおっしゃっていました。

### ファイルサーバーリプレイス時のコスト比較

	ストレージ	バックアップ	データ移行
通常のリプレイス	■	■	■
NXPowerLite利用でのリプレイス	■	■	■

NXPowerLiteの導入によりストレージの運用面で変化はあったのでしょうか。

今までの運用では、当初予測した容量のストレージを用意するだけで、余裕をもって対応できていたそうですが、昨今のデータ量の急増に伴い、予測が難しくなっているそうです。予測次第でコストパフォーマンスが低下したり、今回のようなサーバー更新前に容量不足に陥ったりしてしまいます。

NXPowerLiteによりデータ量が小さくなれば、過剰な裕度が不要ですし、目安となるデータ削減量・削減率の予測も可能になるため、すぐに容量不足に陥るといったこともありませんのでサーバーの増設が必要になった場合も、規模を抑えて運用が可能になると伺っております。

### 取材後の一言

ファイルサイズの軽量化効果に連鎖し、バックアップ時やメール送信時のネットワークの負担軽減、バックアップコスト軽減、ストレージ運用・計画の負担の軽減など、様々な点でご評価をいただきました。クボタ環境サービス様のように画像ファイルを多く保存されていて、すぐに効果を出したい企業様にはNXPowerLiteは非常に効果的です。すでに容量不足のためご検討いただく場合が多いですが、最近では容量が加速度的に増えている場合には、今後を見据えてご導入いただくケースも増えています。

弊社営業部：亀谷



# NXPowerLite™

ソフトウェア開発キット

ファイル軽量化ソリューション

## 導入の裏側

### Ⅰ アクロス様

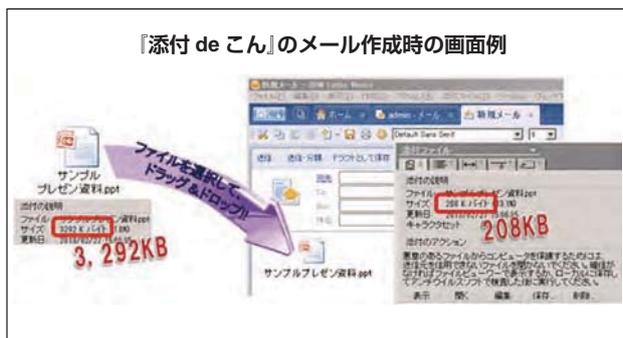
IBM Collaboration Solution (旧 Lotus) 製品を得意分野としたシステムトータルサービスを提供している Sler のアクロス様は、「NXPowerLite を使ってみたい」という Notes ユーザーであるお客様の声をきっかけに、Notes データベース軽量化ツール『添付 de こん』を開発し、開発時に NXPowerLite ソフトウェア開発キット(SDK)がアドインとして採用されました。

お客様を担当し、事例取材にも伺わせていただいた技術部 薬師寺に製品の導入に至った経緯を聞きました。



### NXPowerLite SDK の活用方法について教えてください。

アクロス様は IBM Notes/Domino の Notes クライアントに、NXPowerLite SDK をコアエンジンとしたアドインソフトウェアをインストールし利用する『添付 de こん』を開発されました。ユーザーは『添付 de こん』を利用することにより、メールや Notes データベースに添付するファイルを即時軽量化し貼り付けることができ、Microsoft Office ファイル、画像ファイル(JPEG)、PDF ファイルの軽量化に対応しています。軽量化レベルも4段階から選択することが可能なアドインソフトです。



### アドイン開発で NXPowerLite SDK を使う場合のメリットは、やはり工数短縮でしょうか。

開発工数の大幅な短縮が、一番大きく、分かりやすいメリットだと思います。『添付 de こん』の開発で、もしファイル軽量化技術をイチから開発していたとしたらリリースにかなり時間がかかっていただろうと伺っています。専門分野外の技術、SDK を使用することで、**短期間でオリジナルのアプリケーションを開発**することが可能になったとも伺っています。NXPowerLite SDK は、「ファイルの軽量化」という機能に特化したシンプルな SDK のため、**余計な開発検証がかららず、やりたいと思っていたことを時間をかけずに実現**できたそうです。他にもメリットはあったそうです。

### NXPowerLite SDK 導入により開発期間短縮を実現



### 工数短縮以外のメリットとは何でしょうか。

アクロス様は「**リリースのタイミング**」もメリットの一つと挙げられていました。世の中のファイル軽量化のニーズが高まっているこのタイミングで、確実にリリースしたいときに、イチから開発を行っているとなればタイミングを逃してしまい、お客様の多様化するニーズに合う全ての技術を1社で持ち合わせているということは、現実的ではないと伺いました。本当に開発が必要な部分を厳選し、利用できる部分については、**既存のライブラリやツールを利用して**いくことが、開発期間の短期化を実現し、**タイミングよく新しいアプリケーションをリリース**するためには必要だと、取材中語っていただきました。

### 取材後の一言

アクロス様にはメールや Notes データベースに添付するファイル容量の軽量化を目的として NXPowerLite SDK を利用いただきました。お客様の中で「**ファイルの軽量化**」を既存システムに組み込みたいとお考えの方や、Office 365 や文書管理システムなどのソリューションを提供している Sler の方々に、ぜひ、NXPowerLite SDK をご活用いただきたいです。

弊社営業部：薬師寺



# Neuxpower Solutions社 来日情報

昨年11月末にNXPowerLite開発元のNeuxpower Solutions社がイギリスから来日しました。今回はCEOのMike Power氏、COOのAndy Dargon氏が来日し、日本でのNXPowerLiteの販売状況や製品技術面、また今後のロードマップやお客様からの要望についてのディスカッションを行いました。

滞在中は弊社との会議が中心でしたが、Andy Dargon氏は今回日本が初めてということで、少しの時間でしたが東京案内もスケジュールに入れました。来日の様子をお伝えします。



Mike Power 氏

Andy Dargon 氏

今回来日した2名

**会議**



開発元と今後の戦略やロードマップを共有

**お土産**



たくさんのお土産をいただきました！



昨年イングランドで開催されたラグビーのミニボール



ロンドンの地下鉄が書いているコースター



イギリスの老舗百貨店「FORTNUM & MASON」のお菓子



重厚感のあるロンドンのプレート



会長、社長にはサプライズプレゼントも

**ランチ & ディナー**



浅草でうなぎを満喫



日本らしい居酒屋へ



豊でしゃぶしゃぶを



最終日は大勢で食事会

**東京観光**



PCパーツが見たいということで秋葉原へ



観光名所の浅草寺

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。  
今年も申年ですね(ポケモンが世に出てから20年、サルといえばエイパムが可愛くて好きでした)。2016年を12で割ると余りは「0」  
そうです、申年は西暦を干支で割り切れる年です。ある意味、1周した区切りのよい始まりの年として、引き締まる気持ちです。  
日本のお正月といえば家で餅を食べる習慣がありますが、皆様はどのようなお雑煮でお正月を迎えていますか？煮込み、焼き、  
こんぶだし、味噌、味付けなどもそれぞれだと思えます。日本各地のお雑煮マップを見ると、東西で丸餅か角餅かで分かれることから  
始まり、更には味付けや合わせ具材が豪華なお雑煮もあるようで、あちこちに目移りしてしまいます。  
東京のスーパーに売っているのは角餅がほとんどですが、私の地元は丸餅で、お味噌だけで煮ています。丸餅には「まーるく収まります  
ように」の願い、味噌は「質素儉約」と聞いています(母親からの受け売りですが、本当でしょうか)。グルメな時代に生きているせい、  
やはり具材の沢山入っている豪華なお雑煮が少々羨ましいです。来年は「全国ご当地お雑煮の食べ比べセット」を試してみます。  
本誌を読んでのご感想・ご意見も是非お聞かせ下さい。次号もどうぞ、お楽しみに。

(編集：マーケティンググループ)



## Tea Break

営業部に新しい社員が増えましたので、ご紹介します。



営業部 江口優子

2015年8月に入社しました、江口と申します。

前職では家具販売店で接客業務を行っており、家具→ITという全く異なる業界からの転身でした。初めは慣れない  
ことで戸惑ってばかりでしたが、無事研修も終わり、現在はインサイドセールスグループにてISL Onlineの保守  
更新業務を担当しております。また、外勤営業のサポート業務も行っており、先日は展示会の応援部員として  
北海道に行き参りました。本場のジンギスカン、ビールのお供に最高でした。

では、少し遡って経歴を紹介させていただきます。生まれは長崎県長崎市で、とても坂の多い街で育ちました。  
出身高校は長崎北陽台高校という、最近注目され始めた「ラグビー」の強豪校です。高校卒業後、関西の大学へ  
進学し、在学中はオーストラリアの西海岸にあるパースという街に留学をしました。ビーチが美しい田舎町です。  
南半球にあるオーストラリアはこれからが夏本番なので、毎年冬になるとオーストラリアに戻りたい願望が  
尽きません。そして就職と同時に上京し、今年で社会人3年目になります。

社会人としても、オーシャンブリッジメンバーとしてもまだまだ未熟な私ですが、信頼されるメンバーにいち  
早くなれるよう、日々精進してまいります。これからどうぞよろしく願いいたします。

## 営業活動日記

公開中!



営業部のブログを更新中です。  
普段から皆様とやりとりをさせていただいている  
営業メンバーの素顔を見ることが出来ますので、  
是非御覧ください。

営業活動日記 <http://www.oceanbridge.jp/partner/>

会長、社長ブログも  
更新していますので、合わせて  
ご覧ください。



つかえるITを、世界から。

発行

株式会社オーシャンブリッジ

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-20-8 寿パークビル7F

Web: <http://www.oceanbridge.jp/> | Email: [sales@oceanbridge.jp](mailto:sales@oceanbridge.jp) | TEL: 03-6809-0967(営業部直通) | FAX: 03-6809-0976

・記載の社名または商品名等は、各社の商標または登録商標です。